

ほたるの里だより



ほたるの里のあゆみとこれから

ほたるの里づくり実行委員会会長 加藤 賢三

八千代市ほたるの里づくりは、ホタルを通して自然の仕組みを理解すると共に、自然、環境、いのちを大切に作る人の輪を広げていければという願いを込めて、平成4年度から基礎調査が始められました。平成9年は八千代環境フォーラムの参加による竜のひげの植栽と子どもエコクラブのよどんぐりから育てた苗の植栽などがあり、さらに、ほたるの里に願いをこめたタイムカプセルの埋蔵を行いました。平成11年には放流したゲンジボタルの飛翔が確認されました。平成12年にロゴマーク入りのTシャツや帽子が作成され愛用されています。この年に第一回のナイトウォッチングが開催され、現在に至っています。ホタルの先進地訪問も平成13年から始まり、形を変えながら現在も見学会として継続しています。平成14年には「ほたるの里」の案内冊子をベイFM基金により作成しました。同年、千葉県初のホタルサミットを八千代市でほたるの里づくり実行委員会が開催しました。平成15年には、会報誌『ほたるの里だより』の創刊号を発行しました（ちなみに20年度で24号になりました）。平成16年には、ベイFM基金による『ちばほたるマップ2004』を作成しました。平成17年から『ほたるの里写真展』を開催し現在4回目となっています。平成19年には10年前のタイムカプセルの開封を行うとともに、その後の新たな10年後に願いをこめたメッセージの埋蔵を行っています。さらに、20年度は、千葉県の生物多様性補助金をいただき、ヘイケボタル・ニホンアカガエル・ジャコウアゲハの保全と育

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第25号 2009年4月

成を目的に、ほたるの里の掲示板の更新、環境整備や生物調査に必要な道具の購入、ジャコウアゲハの食草管理のためのフェンスを設置し、報告会を行いました。以上が、ほたるの里の10年間を足早に振り返ったものです。

ほたるの里づくりの特徴は、何といたっても作業等を協働で行ってきたいいわゆるグラウンドワーク方式です。今は目新しくもないのですが、云うは易く行うのが難しいといわれている協働を10年間行ってきたことがその歴史に反映されています。そして、もう一つはホタルメイト1人当たり500円という

安い年会費によりまかなわれていることです。

20年度の活動で印象に残っているのは、八千代市ほたるの里にタイムカプセルを埋めるイベントや、里にいるバッタやイナゴの学習会、ナイトウォッチング、里だよりの発行、里の整備などです。そして、設立後の10年を振り返ると、ほたるの里の案内

パンフレットの作成、千葉県初となるホタルサミットの開催、2004ちばホタルマップの作成などが印象に残っています。

21年度の活動は、将来に向け水漏れを含めた里の補修など、里の生き物調査も行えればと思います。

ほたる里については生き物との共生、ビオトープなど大切な役割がありますが、とくに市民、企業、行政との協働による里づくりが特徴になっています。市民の皆さんに親しまれる里を目指して、市民一丸となって作り上げていく里なのだという思いを共有して行ければと願っています。



講演会「命を育む谷津・里山」 ～里山シンポジウム 「八千代の里山」分科会～

日時：平成21年3月21日（土）13：00～16：25

会場：八千代市郷土博物館 学習室

《プログラム》

- I 講演：「谷津・里山を活かすまちづくりと農業」
講師：中村 攻 氏
千葉大学名誉教授 地域計画課 工学博士
- II 市民団体からの活動報告

平成15年5月に千葉県里山条例が施行され、里山保全を広く話し合う場として、里山シンポジウムが毎年開催されています。平成18年は、八千代市で全体会を開催しました。その後分科会の一つとして、八千代市でも開催してきています。今年度の分科会開催に向けては、環境保全課里山担当の高橋氏の呼びかけで、市内の市民団体と準備会を設け、里山保全に農業は欠かせないとして、今回のテーマに至りました。

講師の中村氏の講演は、都市と農業の両方をやる専門家として、現状を分析し今後の農業と市民のあり方について、テンポよく話され、90分があっという間に過ぎました。

以前の千葉県は、農業県として国の施策をリードするくらい先進的な取り組みをしてきた。しかし、農業のあり方は、生計が成り立たない、後継者不足などにより農村的利用（農地を複合的に活用する）が崩壊してきていると指摘されました。しかし、食料は自国で賄うとして、農業は重要な産業であることも忘れてはなりません。

里山・谷津は、もはや生産の場ではなくなっていることから、新しい価値観を見出すことが重要であること。さらに、環境学習、農業学習の学習体験の場であることは重要な課題であり、再生していくことが大切であると話されました。市民の力が必要ですね！



ほたるの里作品展 作品募集！

ほたるの里作品展を今年も開催いたします。ホタルへの思い、ホタルを取り巻く環境、里で出会った生きもの、里の好きなところ、将来の里への夢など、あなたの思いを込めた作品をお寄せください。

○テーマ：あなたが思うホタル・ほたるの里

○募集内容：写真はキャビネ～4つ切り、

絵画はハガキ大～F6程度、書は半切程度、和歌・俳句

○募集期間：平成20年6月 1日（月）

～6月10日（水）

まで。台紙に張り付けるか額に入れ、吊り下げ可能な状態にしてお持ちください。

○提出先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局（八千代市環境政策室）

※同時に、谷津・里山作品展（八千代市環境政策室主催）も開催いたします。こちらも同期間で作品を募集、展示いたします。八千代の谷津・里山を作品にしてお寄せください。

展示について

○展示期間：

①平成21年6月16日（火）から23日（火）

②平成21年6月25日（木）から7月2日（木）

○展示場所：①イトーヨーカドー八千代店2F

②イオン緑が丘店2Fローズ広場

○表彰方法：展示期間中、ご来場頂いた方に投票をお願いします。上位入賞者にはほたるの里づくり実行委員会より、表彰させていただきます。



ほたるの里作品展、谷津・里山作品展の様子（昨年）

～きっずコーナー～

4月のころ、田んぼに水が入り、田植えのじゅんぴがはじまります。

すると、たくさんの生きものが集まってきます。なかでもカエルのなきごえはにぎやかです。

カエルは、卵からオタマジャクシになり、えらで呼吸(こきゅう)します。

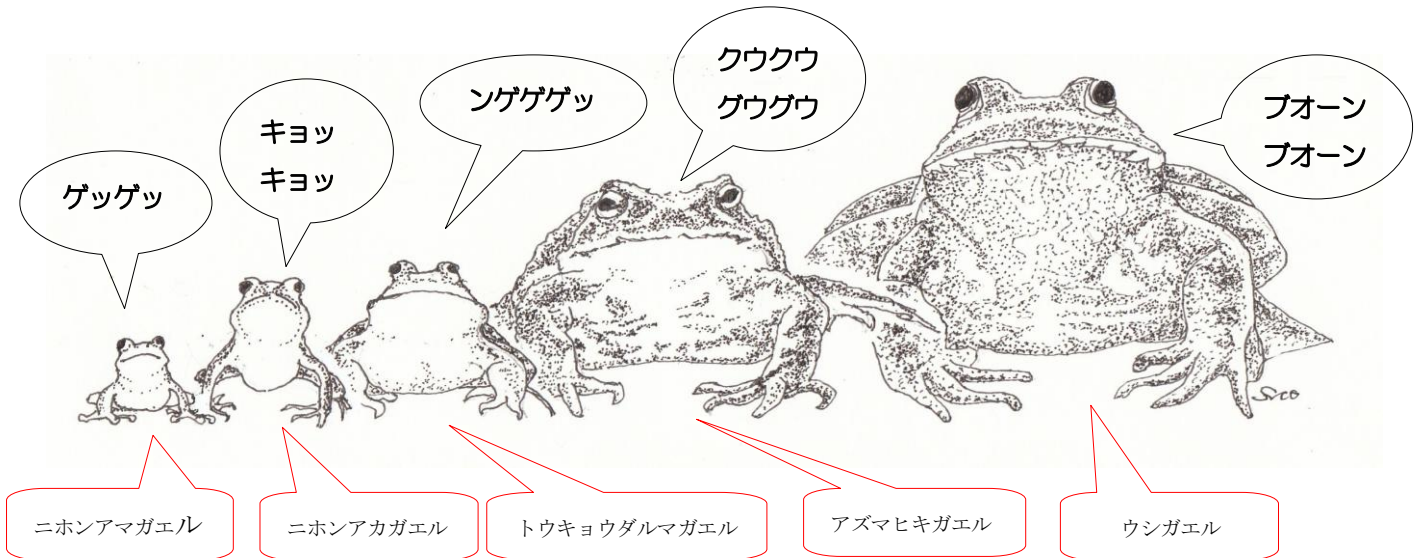
やがて手や足が出て、しっぽが短くなり、地上に上がり、とびはねるようになります。

このときは、皮ふで呼吸をしています。皮ふはぬれていないとカエルは死んでしまいます。

カエルのすがたとなき声をききに、出かけましょう。(カエルをさわった後は、必ず手をあらってね!)

ニホンのカエルのなき声 http://www.nat-museum.sanda.hyogo.jp/wave/wav_kaeru.html

(文:くわはた 絵:もり)



～いま、千葉県生物多様性センターでは、「生命(いのち)のにぎわい調査団」の仲間を募集しています。～

生命のにぎわいというのは、たくさんの種類の生物がバランスを保って一緒に生きている様子です。身近な生き物の調査を通して、千葉県の生き物のこと、自然のことをもっと知ってもらうために、どうしたら「生命のにぎわい」を守っていけるかをみんながかんがえるために発足した生物多様性モニター制度です。

調査団員になると、メールマガジン、講習会のお知らせなどが届きます。また、研修会への参加、専門家による解説や団員同士の情報交換ができます。

調査団員になるには、千葉県の生き物を調査できる人なら誰でも団員になれます。入団希望用紙に必要な事項を記入し、生物多様性センターに郵送してください。生命のにぎわい調査団員証、調査マニュアル、必要に応じて報告用紙等が送られます。

発見報告には、元々千葉県にいた生き物(イタチ、カワセミ、ニホンアカガエル、メダカなど)、地球温暖化によって新しく入ってきた生き物、海外

から入ってきた生き物(アライグマ、ブルーギル、ウシガエル、クマゼミ、ナガエツルノゲイトウなど)を選びました。調査団員からの調査結果をもとに、これらの生き物の分布を調べ、変化を追いかけます。

季節報告は身近で季節を感じるもの(ウグイスの初鳴き、アカガエル卵、ヒグラシの初鳴き、ソメイヨシノ開花など)の中から選びました。長期的に地域温暖化の影響等を調べて、県内の生き物分布図、生き物前線などの情報をお知らせします。

問合せ

千葉県生物多様性センター

「生命のにぎわい調査団」

〒260-0852 千葉市中央区青葉町9 5 5-2

千葉県中央博物館内、TEL 043-265-3601

FAX 043-265-3615

ホームページ

<http://www.bdcchiba.jp/monitor/boshurf.pdf>



21年度のスケジュール



総 会

4/11 (土)	10:00~12:00
----------	-------------

ナイトウォッチング

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

見学会

8/18 (火)	9:00~17:00
----------	------------

学習会

10/17 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

ザリガニ釣り大会

8/29 (土)	9:00~11:00
----------	------------

環境整備

5/9 (土)	10:00~12:00
6/20 (土)	10:00~12:00
7/25 (土)	9:00~11:00
8/29 (土)	9:00~11:00
9/26 (土)	10:00~12:00
11/14 (土)	10:00~12:00
3/6 (土)	10:00~12:00

作品展

6/16 (火) ~ 23 (火)	イトーヨーカドー八千代店2階
6/25 (木) ~ 7/2 (木)	イオン緑が丘店2階ローズ広場

《モニタリングサイト1000里地 調査とは?》

モニタリングサイト1000は、動植物の生育生息状況などを100年にわたって同じ方法で調べ続けるサイト(調査地点)を全国に1000ヶ所程度設置し、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省のプロジェクトです。このプロジェクトと並行して、(財)日本自然保護協会では、地域の自然環境の変化を把握や、保全活動の成果を評価することを目的に、その地域にあわせた様々な項目・方法の調査の研究を行っています。

八千代市ほたるの里は、ニホンアカガエルの調査地として(財)日本自然保護協会の一般サイトに応募し選ばれました。近隣としては、NPO法人四街道メダカの会、(財)佐倉市緑の銀行などの市民団体がこの調査に参加しています。

ニホンアカガエルは、2月頃田んぼや湿地の水溜りなどの止水域に卵を産みます。オタマジャクシからカエルに変態した後は、水田の周辺や森林の林縁部や林内で生活をします。そこで、水辺と森の環境が連続して存在している伝統的な谷津環境が残されることが大切です。

ニホンアカガエルの生息地は、八千代市内でも少なくなりました。ほたるの里のニホンアカガエルを守りましょう。

ホテルメイトになりませんか?

年会費(4月~3月)

個人	500円
市民団体	2,000円
事業所	2,000円

ホテルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時で受け付けている他、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

(ゆうちょカードをお持ちの方はATMでお振り替えいただくと手数料が無料です。)

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM: 80円

窓 口: 120円

払込先: 八千代市ほたるの里づくり

実行委員会

口座番号: 00150-7-670156



【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyuu2@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局